

<日本連盟アジア太平洋提携プロジェクト Bangladesh 派遣報告>

ボーイスカウト目黒第一団ローバー隊 市河靖弘



派遣の概要と経緯

今年で 5 回目を迎える Bangladesh 派遣は、劣悪な衛生環境が深刻な問題となっている Bangladesh 農村部を中心に、プライマリーヘルスケアの知識を啓蒙する、国際協力プロジェクトである。Bangladesh では現在、毎年 500 万人の乳幼児が、下痢のため命を落としている。その原因は非衛生的な生活習慣と現地民の知識

の欠如だと言われており、こういった問題を少しでも改善するべく、日本・Bangladesh 両国ローバースカウトによる提携プロジェクトが行われている。私は去年の 10 月、グローバル化に伴う文化衝突、南北問題、そして宗教問題などに対する問題意識から、この派遣に参加することを決めた。去年 12 月に始めて顔を合わせた 18 名のスカウトは、わずか 2 ヶ月足らずの期間で派遣団を組織化し、5 度に渡る事前準備集会を経て、2 月 Bangladesh へ出発した。

プロジェクトの報告と今後の展望

ダッカ入りした 25 日、空港からホテルまでの移動に利用したバスの窓を、腕のない子供や目のつぶれた老婆が、何かを喚き散らしながら激しく叩く。世界最貧国と言われる Bangladesh の現状は、筆舌に尽くし難い。事前にどれだけ説明を受けていたとしても、あの光景はさすがにショックであった。派遣団はその日から 2 日間ダッカで Bangladesh 連盟とのミーティングを行い、27 日にプロジェクト地ノアカリへ移動した。現地では一週間、共同生活を送りながら、地元スカウト約 100 名と供にプロジェクトを行った。毎朝午前 8 時には、プロジェクト地となる村落へ出発し、午後 5 時過ぎまでいくつもの村を回りながら啓蒙活動を続けていく。宿舎に帰ってからも、毎晩遅くまでミーティングと勉強会が行われた。プロジェクト期間中、食べ物や気候の影響か、何人ものスカウトが下痢や発熱で倒れた。こういった状況の中でも、派遣員は自立性をもってそれぞれの仕事をこなし、プロジェクトの成功のため絶えず努力した。



このプロジェクトは現地農村部の村人たちを対象としているため、実質的にどのような効果があり、私達日本ローバーはどれだけ役に立てたのかなど、数値的に評価することは

難しい。しかし、初めて村に訪れた外国人が、つたないベンガル語でプライマリーヘルスケアの知識を説いたことを、現地の村人たちは決して忘れないだろう。私達が一生懸命に勉強し、村人に伝えたメッセージが、彼らの記憶に少しでも残ってくれば、このプロジェクトは成功であったと言えるのではないだろうか。



本派遣は5カ年の計画を終え、さらにもう5年間続けられることが今年決定した。来年も再来年も、日本から20名規模のスカウトがバングラデシュに渡ることになる。今回の派遣に参加したメンバーは現在報告書を作成中であり、またこれまでの派遣に参加したスカウトを中心に、5カ年後のプロジェクトを準備中である。

こういった活動は持続的に続けられることに意味がある。これからこのバングラデシュ派遣が、さらに多くのスカウトが関わっていけるプロジェクトとなるよう、今後も活動を続けていきたいと思う。(第5回バングラデシュ派遣公式Webサイトは以下)

<http://www.scoutnet.or.jp/~rnc/intl/bangladesh/2002/index.html>

<http://www.scoutnet.or.jp/~rnc/intl/bangladesh/2002/index.html>

目黒1団関係者の皆様へ

今回の派遣に参加するにあたって、目黒1団からは国際交流費として派遣費用の一部を助成して頂きました。私がこうして様々な活動に参加できるのも、目黒1団関係者の方々に応援して下さるおかげだと考えております。この場を借りてお礼申し上げます。

ここで宣伝というわけではありませんが、今後バングラデシュ派遣が残す課題は、広報活動であると言われております。ボランティアは多くの方に認識してもらった上で、成り立つものです。あまり人に知られないままプロジェクトが終了してしまえば、その場限りの一次的な活動で終わってしまうこともあります。そういったことのないよう、私達は少しでも多くの方々に、バングラデシュの現状や私達の活動について知って頂き、問題意識を持ってもらえたらと考えています。

先月祐天寺の講堂をお借りして報告会をさせて頂きました。今後も何かの機会があれば、目黒1団を中心にこの派遣の報告を続けていきたいと考えております。隊ごと、もしくは他地区の方など、何かの機会に声をかけて下されば、報告の準備をして伺いたいと思いません。バングラデシュ派遣の広報活動にご協力くださいますよう、どうかよろしく願い致します。

目黒1団ローバー隊

市河靖弘